

# 特集 1 特殊詐欺の現状と対策

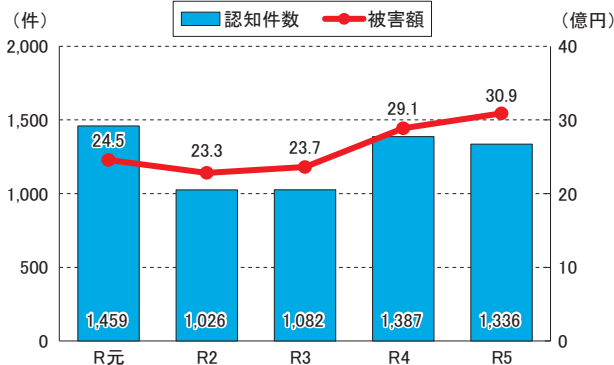
特殊詐欺：被害者に電話等で対面することなく信用させ、指定した口座への振込み等の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝及びキャッシュカード詐欺盗を含む）の総称

注 1：被害額は、だまし取られるなどしたキャッシュカードによって不正に引き出された金額を含む

注 2：令和 5 年中の数値は暫定値

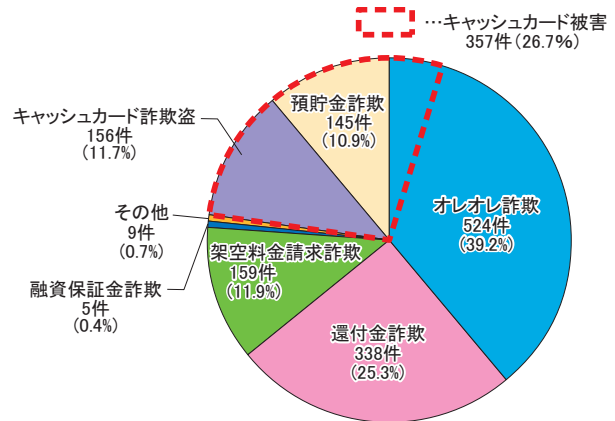
## 1 被害状況

認知件数・被害額の推移

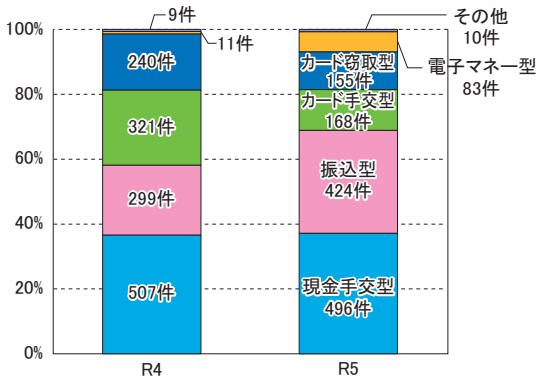


認知件数は令和 4 年より減少しましたが、被害額は令和 2 年以降増加しています。

犯行の手口 (令和 5 年中)

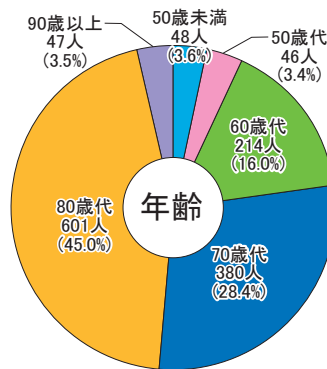


被害の主たる交付形態別割合

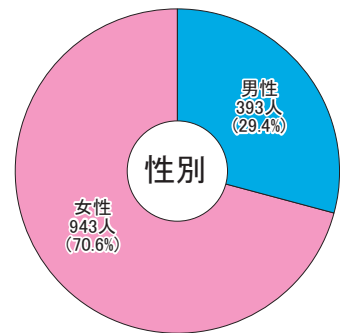


カード手交・窃取型が大幅に減少し、振込型と電子マネー型が大幅に増加しています。

被害者の年齢 (令和 5 年中)

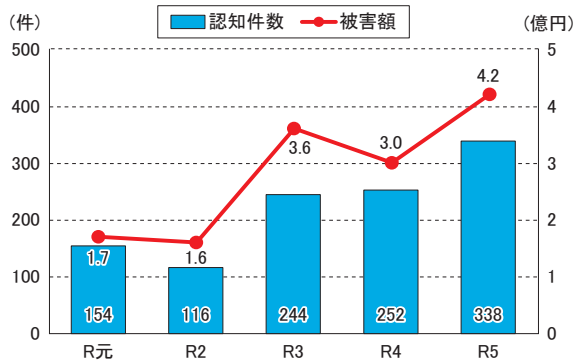


被害者の性別 (令和 5 年中)



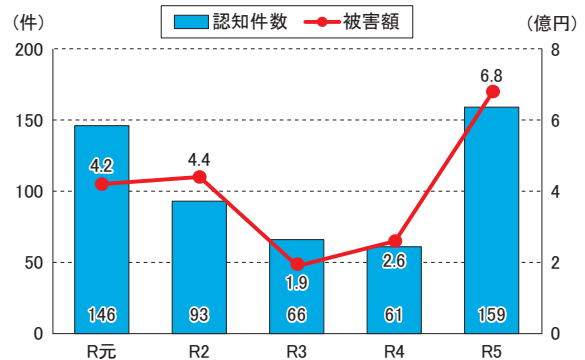
被害者の年齢別では80歳代の割合が約45%と最も多く、性別では女性の割合が約70%となっています。

還付金詐欺被害件数・被害額の推移



還付金詐欺は、被害件数・被害額ともに増加しています。

架空料金請求詐欺被害件数・被害額の推移



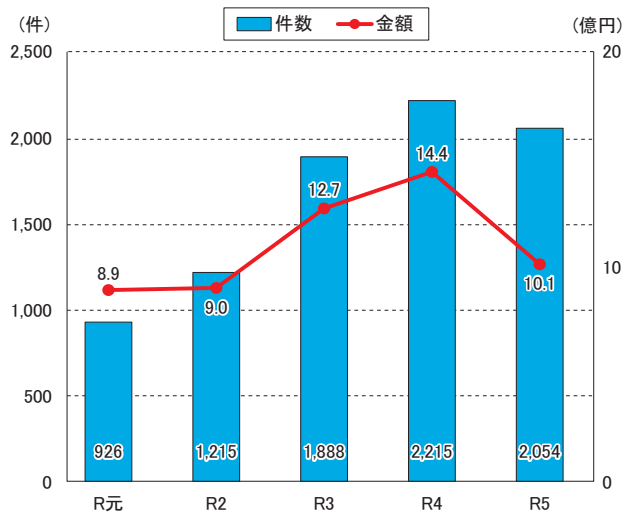
架空料金請求詐欺は、昨年と比較して被害件数・被害額ともに約2.6倍になりました。

## 2 被害防止対策

県警察では、自治体、事業者等と連携した被害防止対策を推進しています。

令和5年中、特殊詐欺情勢等の情報提供や積極的な通報等の協力を依頼した金融機関における研修会、埼玉県防犯のまちづくりに関する協定締結事業者等との被害防止キャンペーン、県内のコンビニエンスストアに対する還付金詐欺被害者等に声を掛ける際に活用する声掛けボードの配付、自治体等と連携した戸別訪問による被害防止対策の呼びかけ等を実施しました。

被害防止件数・金額の推移



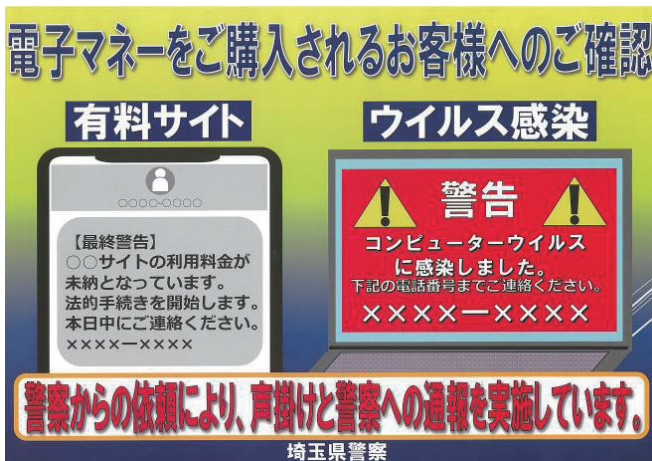
金融機関における研修会



事業者と連携した被害防止キャンペーン



コンビニエンスストア用声掛けボード



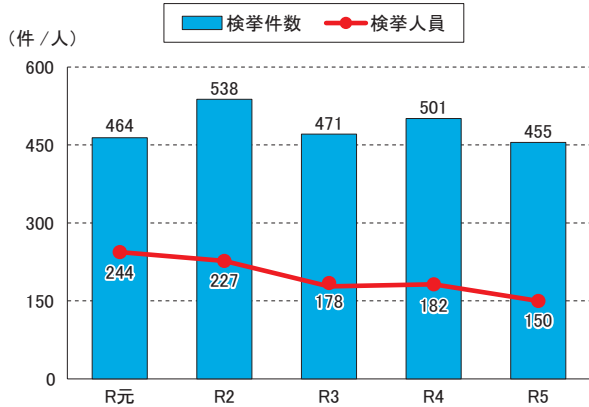
自治体と連携した戸別訪問



### 3 主な検挙対策

職務質問や県民の協力による「だまされたふり作戦」、犯行拠点及び悪質電話事業者の摘発等を推進しています。

検挙件数・人員の推移



職務質問による検挙活動(訓練)



悪質電話事業者の摘発



犯行拠点の摘発



#### 《令和5年中の主な検挙》

- カンボジア王国を架け場とする詐欺事件 (9道府県合同捜査本部)
- 犯行ツール(犯行使用電話)提供者らによる詐欺未遂幫助事件 (捜査第二課、越谷署)

#### コラム

令和5年から、県警察では、特殊詐欺被害を防止していただいた一般の方に対する「特殊詐欺水際防止功労者証」と、留守番電話設定テスト合格者に対する「留守番電話設定認定証」の2種の証明書を交付しています。

県内の協賛店において、証明書を提示すると、入場無料等の特典が受けられます。(詳細は二次元コード→)



水際防止功労者



留守番電話設定テスト